学校教育目標『とことん学び　ともに高めあう　元気いっぱい北波多っ子』

	北波多小学校 学校だより11号	北波多小だより	令和8年10月19日発行 文責　校長　庭木　繁久

運動会に向けて本格始動！みんなが繋がり、さらなる成長を！

１３日（月）には、結団式を行い、いよいよ運動会の練習が本格的に始まりました。

学校において運動会という行事は、子供たちが大きく成長する機会です。６年生が中心となって。優勝という大きな目標に向って、子供たちが自分の力を精一杯発揮しようと練習を重ねていきます。

これから約２週間は、開閉会式、応援練習、団体競技、徒歩等と覚えなければいけないこともたくさんありますが、その中でも集団で行動することの大切さをしっかり学んで欲しいと思います。

時間を守ることやお互いを認め合いながら協力すること、そして、上級生は、下級生の手本となって、学校のリーダーとして活動し、下級生は上級生を見習って行動すること。このようなことを練習を通して気付き、考え、行動しながら子供たちは成長していきます。

これから練習も多くなり、疲れも残ってくるかと思いますので、御家庭でもお子さんの体調管理には十分気を付けていただきながら、応援していただけると助かります。





応援団長へインタビュー！

２人の団長に今年の運動会へ臨む意気込みや団をまとめるうえで大切にしたいことについて尋ねてみました。

赤組は、勝ち負けでなく、みんなにとって一番思い出になる運動会にしたいです。そして、応援リーダーが中心となり、下級生には厳しさもありながらも優しく教えて、みんなをまとめていきたいです。（赤組団長）



白組は、一致団結して勝敗より、まずみんなが楽しむことを優先して取り組んでいきたいです。そして、応援では大事なところを丁寧に注意しながら教え下級生に接していきたいと思います。（白組団長）



「志気浮立」で運動会を盛り上げる！





北波多地区に古くから伝わる伝統芸能「志気浮立」の練習が始まっています。子供たちは真剣な表情で動きを覚え、一つ一つの所作を丁寧に練習しています。志気浮立は、地域の歴史や先人の思いが受け継がれてきた大切な伝統文化です。子供たちは練習を重ねる中で、技術だけでなく、ふるさと北波多への誇りや地域の皆様への感謝の気持ちも学んでいます。

練習の中では、初めは戸惑っていた子供たちも、回数を重ねるごとに動きがそろい、友達と声を掛け合いながら一生懸命に取り組む姿が見られるようになりました。

ここ数年は、ひかり保育園の川浪仁美先生に講師として来ていただき、４年生以上の子供たちへ志気浮立の指導をしていただいています。今年も指導していただいていますが、言葉で聞くよりも体が覚えているようで、音楽がなると自然と踊りだし、掛け声をかけながら、子供たちは短時間で上手に踊り、思い出すことができていました。

ここで受けた指導をもとに、子供たちは下学年の子供たちへ志気浮立の指導を行います。本番では、伝統を受け継ぐ担い手としての力強い演技を披露してくれることと思います。

【運動会　練習風景】







